



にじいろ福祉会後援会通信

にじいろサポーター 第20号

2021. 2. 5発行

立春が過ぎてこの冬最高の寒波がやってきました。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。コロナ禍で世の中が落ち着く様子はありませんが、CCS、あとりえCの学生は皆、元気に活動しております。

今回は劇団 HASCAP、成人式、研究発表会についてお知らせします。

劇団 HASCAP 第5回公演 外郎売りの台詞

12月24日～26日に札幌市やまびこ座で劇団 HASCAP の第5回公演のVTR収録が行われました。前号でお知らせしたとおり無観客で収録が行われました。1年生は初めての大舞台で緊張していましたが、3日間の内にはすっかり慣れてのびのびと演技することができました。

20人が一度に舞台上がるわけには行かず、またマスク無しではダメなどの制約がある中で収録が行われました。

今回の「外郎売りの台詞」は300年前の歌舞伎の演目を基にしたもので現在では言葉や発音の練習に使われていることが多いです。これを金田一先生が脚色して群読劇として演出して下さいました。歌舞伎で使う古い言葉遣いやアクセント、イントネーションに苦戦していた学生も、およそ9ヶ月の練習を経て成長を遂げ、皆台詞もタイミングもとてすばらしいできとなりました。

現在、編集中心ですが楽しい作品となっています。是非、ご覧下さい。



成人式を行いました！

今年はコロナ禍により、成人式の中止や延期の声が聞かれましたがチャレンジキャンパスさっぽろでは、なんとか成人をお祝いできないかと考え、広さを重点に、白石区民ホール（定員 500 名）で行うことにしました。今年は 2 年生の 4 名が成人するため、そのご家族と学生 28 名（CCS19 名、あとりえC9 名）そして支援員 8 名全員でお祝いすることができました。ホールの立派な舞台上がって学年ごとに出し物を発表するのですが、舞台の華々しさにすっかり前が見られない人が続出。それでもさすがに 2 年生や専攻科生は堂々と舞台上に立っていました。

保護者の方が語る、幼い頃の様子や、スライドショーの写真に、思わずほろりとする支援員ですが、若者は広い会場で踊ったり体を動かし、のびのびお祝いしていました。

コロナの中で外出ができなかったり、大好きな歌が歌えなかったりと我慢することが多い中、家のお手伝いと「家族を守ろう！」を合言葉にマスクとフェイスシールドで活動中の学生にとって広い空間は、新鮮に感じられたようでした。まだまだ続くコロナ禍での生活ですが、どんなことも学習ととらえ、楽しむ力をつけていきたいと成人の 4 名の笑顔を見て思いました。



もうすぐ研究発表会です。

ご案内チラシを同封しましたが、3 月 11 日木曜日に第 10 回の研究発表会を行います。昨年は残念ながら、コロナ禍で、学生と支援員のみで行い、保護者の皆さんにはその様子をDVDで見ていただくというものでした。1 年間研究してきたその成果をぜひいろいろな方々に見ていただけたらと、今年は広い場所を探しました。

それで平日となってしまいましたが、なんと「札幌市教育文化会館小ホール」でおこなうことになりました。昨年末やまびこ座で演劇の収録を行いました。さらに広いホールで発表。今から緊張するのは支援員ばかりで、専攻科の学生は、企画から進行まで楽しんで取り組んでいます。今年のテーマは、専攻科が考えた「おもしろハッピー！」です。コロナ禍でともすれば暗くなりがちな時だからこそ、明るく楽しいことを考えて、みんなでハッピーになろうというのです。素敵なその発想にみんなで拍手でした。当日は席もたくさん用意しています。除菌もしっかり行って、皆さんに安心してきていただけるよう学生と一緒に頑張ります。ぜひお越しください。